

彙 報

教員の主な研究活動・社会活動 (2023年度)

*2022年度紀要掲載分以降（2022年11月から2023年10月まで）

**2023年度に新規に採用された教員は過去5年間の業績を含む

***各学科ごと教員五十音順に掲載（2023年度紀要は、「人間形成学科」教員分を先に掲載する）

****彙報の執筆要領は以下の通り

（氏名）〇〇 〇〇

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等
2. 学会発表
3. 報告書
4. 科研費等研究
5. その他

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等
2. 行政・関係団体活動等
3. 研修会・講演会等
4. その他

※彙報編集作業にご協力ください。

①文字について

フォントは本文に関しましては「ゴシック」で、数字に関しましては「Century」で、フォントサイズは10.5での入力をお願いいたします。

②項目について

著書、論文等は必要に応じて、以下（1）（2）等見出しを立ててご記入ください。他の項目に関しましては同様にお願いいたします。

③本紀要において記載すべき著書・論文・学会発表等の表記方法は、先生方の所属されている主な学会における表記方法でかまいません。

池田 充裕

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・報告書等

- (1) 池田充裕「シンガポールの学校ー強靱な学力と人間性を鍛え上げる学校」二宮皓編著『世界の学校ーグローバル化する教育と学校生活のリアル』学事出版、136-143頁、2023年3月。
- (2) 池田充裕、Citizenship Education in Singapore: Implementation of Character and Citizenship Education and Revised National Education, Hirata Toshifumi(ed.), *Citizenship Education in the ASEAN Community*, Springer, pp. 201-216, 2023年2月。
- (3) 池田充裕「教科書制度一覧表」「各国の概要」『海外教科書制度調査研究報告書』公益財団法人教科書研究センター、2023年10月、WEB 公開資料。

2. 科研費等外部資金研究

- (1) 研究代表者「シンガポールにおけるアクティブ・ラーニングの評価・改善システムに関する実証的研究」2018～2023年度科学研究費補助金・基盤研究（C）（一般）（課題番号18K02392）。
- (2) 研究代表者「シンガポールの教育省立幼稚園の教育実践とその機能に関する実証的研究」2022～2025年度科学研究費補助金・基盤研究（C）（一般）課題番号（22K02332）。
- (3) 研究協力者「新たな学びの実現に向けた教育課程の在り方に関する研究」プロジェクト（国際調査班）委員、国立教育政策研究所、2023年5月～現在。
- (4) 研究協力者「幼小接続期の教育の質の基盤形成に関する研究」プロジェクト（国際比較班）委員、国立教育政策研究所、2023年4月～現在。
- (5) 研究協力者「海外教科書制度調査研究」公益財団法人教科書研究センター、2018年9月11日～現在。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・日本比較教育学会、日本教育学会、異文化間教育学会、日本教育行政学会、日本教育制度学会、日本教育政策学会、日本保育学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県教育委員会・教員育成協議会（委員）
- (2) 山梨県教育委員会・少人数教育推進検討委員会（委員）
- (3) 山梨県・私立学校審議会（委員）
- (4) 山梨県教育委員会・総合教育センター活性化検討委員会（委員）
- (5) 山梨県教育委員会・教育委員会の活動状況報告「学識経験者からの意見」担当
- (6) 中央市教育委員会・中央市学校施設のあり方検討委員会（委員長）

- (7) 中央市教育委員会・教育委員会の活動状況報告「学識経験者からの意見」担当
- (8) 甲斐市教育委員会 甲斐市いじめ問題対策委員会（委員）
- (9) 甲斐市教育委員会 甲斐市いじめ防止連絡会議（委員）
- (10) 山梨県立中央高等学校・学校評議会（委員）
- (11) 日本 PTA 全国協議会・PTA 関係文部科学大臣表彰候補選考委員会（委員）
- (12) 甲府信用金庫・公益財団法人しんきん育英会（理事）

3. 研修会・講演会等

- (1) 子育て支援員研修「地域保育コース（地域型保育）」講師、「総合演習」「グループ討議」担当、2023年8月24日、9月7日、主催：山梨県福祉保健部子育て支援課、会場：山梨県立大学。

太田 研

I. 主な研究活動

1. 著書・論文等

(1) 著書

- 1) 和田一郎, 鈴木 勲, 安部計彦, 茂木健司, 阪東美智子, 仙田 考, 太田 研 他8名 (2023). 児童相談所一時保護所の子どもと支援——ガイドライン・第三者評価・権利擁護など多様な視点から子どもを守る—— 明石書店 【分担執筆】 分担範囲: 第6章「職員研修の制度検討 研修の評価と改善」(pp. 156-169)

(2) 論文

- 1) 太田 研, 鈴木 勲, 和田一郎, 仙田 考 (2023). 放課後児童クラブにおける危機管理マニュアルの活用に関する探索的調査——設置・運営形態による特徴——. 日本社会福祉マネジメント学会誌, 3, 53-66. 【査読有り】
- 2) 鈴木 勲, 太田 研, 和田一郎, 仙田 考 (2023). 児童相談所一時保護所の人材育成に関する基礎的研究. 社会保育実践研究 (名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科紀要), 7, 9-20. 【査読無し】
- 3) 鈴木 勲, 太田 研, 和田一郎 (2023). 児童自立支援施設入所児童の児童期逆境体験に関する基礎的研究. 社会保育実践研究 (名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科紀要), 7, 21-30. 【査読無し】

(3) 記事

- 1) 太田 研, 細野 貴寛 (2023). エージェンシーを育成する道德教育のユニバーサルアプローチ. 特別支援教育研究, (790), 40-43. 【招待有り】
- 2) 細野 貴寛, 太田 研 (2023). エージェンシーを育成する道德科授業. 特別支援教育研究, (791), 40-43. 【招待有り】
- 3) 太田 研 (2023). 【巻頭言】子どもの権利を守る学級・学校づくり. 授業UD研究, (15), 2-2.

2. 学会発表等

- 1) 鈴木 勲, 太田 研, 仙田 考, 小積律子, 馬場貴孝, 和田一郎 (2022) 児童相談所一時保護所の効果的な研修パッケージモデルの開発に関する研究. 日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会抄録集, 195-196. 【シンポジウム】
- 2) 仙田 考, 鈴木 勲, 和田一郎, 太田 研 (2022) 児童相談所一時保護所の職員研修における子どもの遊び・生活・環境構成の視点についての一考察. 日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会抄録集, 286-286. 【ポスター発表】

3. 競争的資金獲得

[研究代表者]

- 1) 太田 研: 自己決定尺度日本語版の開発による発達障害幼児のエージェンシー基盤能力の解明, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)), 課題番号: 22K02441, 2022年4月—2026年3月

[研究分担者]

- 1) 児童相談所一時保護所の研修体系モデルの開発と評価に関する研究, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)), 課題番号: 23K01906, 2023年4月—2027年3月

4. その他

- 1) 編集後記: 日本授業 UD 学会発行の学術雑誌『授業 UD 研究14号』(2022年12月)の編集後記にて本号の各原稿で共通するテーマや今後の授業 UD 研究の方向性を記した。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

[所属学会]

日本行動分析学会、日本認知・行動療法学会、日本発達心理学会、日本臨床発達心理士会、日本特殊教育学会、日本 LD 学会、日本発達障害学会、日本発達障害支援システム学会、日本授業 UD 学会、日本保育学会、こども環境学会、日本子ども学会、日本社会福祉マネジメント学会、日本子ども虐待防止学会

[役職]

日本授業 UD 学会 理事・学会誌査読委員
日本行動分析学会 「行動分析学研究」編集委員

2. 行政・関係団体活動等

- 1) 武蔵村山市特別支援教育専門委員会委員 (2014年4月—現在に至る)
- 2) 武蔵村山市入級支援委員会委員 (2014年4月—現在に至る)
- 3) 一般社団法人東京特別支援教育心理研究センター運営委員 (2019年4月—現在に至る)
- 4) 山梨県教育委員会調査研究会委員 (2020年4月—現在に至る)
- 5) 山梨県社会教育委員 (2020年11月—現在に至る)
- 6) やまなし保育士・保育所支援センター「要支援児童等に対する専門家派遣事業」心理士 (2023年1月—現在に至る)

3. 研修会・講演会等

- 1) 山梨県私立幼稚園連盟中部地区研究会「愛着形成と心の育ち」講師 (2022年11月～2023年10月, 計4回)
- 2) 第53回 関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会 第1分科会「「ひとづくり」学校・家庭・地域の連携協働のあり方——地域全体で子どもを育てるために——」講師・ファシリテーター (2022年11月)
- 3) 一般社団法人 東京特別支援教育心理研究センター 特別支援教室巡回相談心理士 連絡会「主体的な支援目標の設定を支える巡回相談」講師 (2022年11月)
- 4) 一般社団法人 日本社会福祉マネジメント学会「東京都保育士等キャリアアップ研修 (幼児教育)」(2023年11月, 計15時間)
- 5) 一般社団法人 日本授業 UD 学会 スキルアップセミナー「特別な配慮を必要とする子どもの

- 個別最適な学びに向けた目標設定」講師（2023年1月）
- 6) やまなし保育士・保育所支援センター やまなし HOIKU ひろば「発達が気になる子どもへの共感的なかかわり」「発達が気になる子どもへのポジティブな行動支援」「発達が気になる子どもの子育て支援」講師（2023年1月～2月，計3回）
 - 7) 埼玉県教育局県立学校部 特別支援教育課 特別支援学校コーディネーター研修会「特別支援教育コーディネーターの果たすべき役割について」講師（2023年5月）
 - 8) 山梨県総合教育センター 中堅教諭等資質向上研修「学級経営や児童生徒理解に必要なコミュニケーション・スキル」講師（2023年5月～6月，計3回）
 - 9) 山梨県認定こども園設置者連絡会 研究事業「アタッチメントを支える保育」講師（2023年7月～10月，計3回）
 - 10) 山梨県児童館連絡協議会 児童厚生二級指導員研修会「児童の発達理論」講師（2023年7月）
 - 11) 一般社団法人 東京特別支援教育心理研究センター 特別支援教室巡回相談心理士 連絡会「巡回相談における助言について」講師（2023年7月）
 - 12) 山梨県教育委員会生涯学習課 社会教育指導者研修「新たな「つながり」による可能性と方策——山梨県社会教育委員の会議の提言書から——」講師（2023年7月）
 - 13) 山梨県総合教育センター 学級・授業づくり研修会「カウンセリングの手法を生かした学級経営」講師（2023年8月）
 - 14) 埼玉県立和光・和光南特別支援学校共催 特別支援教育コーディネーター研修会「学校におけるユニバーサルデザイン」講師（2023年8月）
 - 15) 山梨県立大学受託子育て支援員研修「子どもの発達」「乳幼児の発達と心理」「地域型保育における保護者への対応」「グループ討議」講師（2023年8月～9月，計4回）
 - 16) 山梨県公民館連絡協議会 学習会「学校・家庭・地域の連携協働のあり方——地域全体で子どもを育てるために——」講師（2023年9月）
 - 17) 山梨県放課後児童支援員認定資格研修「子どもの発達理解」「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」（2023年10月，計2回）

奥谷 佳子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

著書

- (1) 保育ナビ2023年7月号 秋田喜代美・大方美香・大澤力・大日向雅美 他9名(編集)
フレーベル館 分担執筆部分 保育研究の最前線 保育実践を科学する 保育者の専門性を明らかにする 研究3 p.17 (2023年5月)

論文

- (1) 幼稚園4・5歳児クラスの協同的な遊びと活動場面における保育者の質問 奥谷佳子
保育学研究 第60巻 第2号 pp.247-258 (2022年12月)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本保育学会

日本乳幼児教育学会

日本家政学会

日本臨床発達心理士会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 幼児教育推進委員会委員(山梨県) 2023年度

3. 研修会・講演会等

- (1) 子育て支援員研修 地域保育コース(地域型保育) 講師 「子ども・子育て家庭の現状」 「保育の原理」担当 2023年8月21日 主催：山梨県福祉保健部子育て支援課 会場：山梨県立大学飯田キャンパス
- (2) 山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 中部地区研究会講師 第2分科会「同僚性を育む“語り合い”“学び合い”」担当 2022年11月16日、2023年1月25日、6月7日、7月5日、8月2日、10月11日 主催：山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 会場：中部地区の幼稚園
- (3) 山梨県幼児教育研究協議会講師 「共通協議主題『幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会』における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」2023年6月13日、8月22日、11月28日 主催：山梨県教育委員会 会場：山梨県立青少年センター
- (4) 月齢別講座講師 「絵本の世界を一緒に楽しみましょう」2023年6月16日 主催：甲府市幼児教育センター 会場：北部幼児教育センター
- (5) 令和5年度幼稚園・保育所等新規採用教員研修会講師 「0,1,2歳児の発達と保育」2023年7月25日 主催：やまなし幼児教育センター 会場：山梨県立図書館
- (6) 令和5年度山梨県立甲府昭和高等学校大学模擬授業講師 「幼児教育とは」2023年10月13日 主催：山梨県立甲府昭和高等学校 会場：山梨県立甲府昭和高等学校

里見 達也

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

- ・なし

2. 学会発表

- ・なし

3. 報告書

- ・(2023 山梨の子ども白書) 山梨の子ども白書編集委員
(2022.4～2023.8)
- ・(2024 山梨の子ども白書) 山梨の子ども白書編集委員
(2023.9～現在)

4. 科研費等研究

- ・「多文化共生保育における乳幼児期の言葉の獲得と子育て支援の取り組みに関する研究」全国保育士養成協議会令和4年度ブロック研究助成(関東ブロック)、(保養協発第4-037号)、研究代表者：塚越亜希子、研究者：鳥海弘子、中野真樹、加藤緑、山梨有子、里見達也、大西明実、田中卓也

5. その他

- ・なし

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本乳幼児教育学会、日本保育学会、日本特殊教育学会、日本臨床教科教育学会、日本育療学会、日本教育心理学会、日本応用教育心理学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本肢体不自由教育研究会、全日本特別支援教育研究連盟

2. 行政・関係団体活動等

- ・山梨県立甲府支援学校 学校評議員
- ・社会福祉法人しあわせ会評議員選任・解任委員
- ・山梨の子ども白書編集委員会事務局

3. 研修会・講演会等

- ・令和5年度児童厚生二級指導員研修会「健全育成論」講師、2023年6月30日、山梨県立青少年センター別館2階多目的ホール
- ・2023年度第60回関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会〔山梨大会〕第10分科会助言者、2023年7月31日～8月11日、オンライン

- ・ 令和5年度放課後児童支援員認定資格研修「障害のある子どもの理解」講師、2023年10月11日、山梨県立青少年センター別館2階多目的ホール
- ・ 令和5年度子育て支援員研修会「A7子どもの障害」・「B7地域の環境整備」・「B9保育者の職業倫理と配慮事項」・「B10特別の配慮を必要とする子どもへの対応」・「C5見学オリエンテーション」講師、2023年8月24日、31日、会場：山梨県立大学B館1階講堂

高野 牧子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 著書

高野牧子「第1章コラム」,「第4節 親子ふれあい遊びをとおして育つ心とからだ」花井忠征・野中壽子/編著,分担執筆「新 保育ライブラリ保育の内容・方法を知る 保育内容 健康」[第3版],北大路出版,2022年

(2) 論文

(単著)高野牧子:「幼児の創造的な身体表現を育むための保育者の役割—ドイツ,バイエルン州森の幼稚園の事例を基に—」公益社団法人日本女子体育連盟学術研究,第39巻,2023年,pp.1-8 査読あり

(3) 専門誌

(単著)高野牧子:「身体を意識して踊る」『女子体育 Dance Education for All』Vol.64-7 pp.30-33

(4) 舞台公演

T.Blend(瀬川真寿美・高野牧子・浜田尚子)「ゆくかた 碧き このほしを」
2023年9月9日,10日,ラゾーナ川崎プラザソル

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

公益社団法人 日本女子体育連盟

日本体育学会、舞踊学会、日本保育学会、日本発育発達学会、体育科教育学会、
山梨県女子体育連盟理事

2. 行政・関係団体活動等

(1) 山梨県子ども・子育て会議委員

(2) 山梨県保育等人材確保・定着等協議会 委員長

(3) 山梨県保育・教育の質向上部会委員

(4) 令和4年度山梨県養護母子審査部会委員

(5) 令和4年度文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会専門委員会体育専門委員

(6) アライアンスやまなし幼児教育部会委員

3. 研修会・講演会等

(1) 富士河口湖町子育て支援わいわい教室(2歳児コース)講師 年10回

(2) あけぼの医療福祉センター,タムタム,親子教室講師 年2回

(3) 令和5年度子育て支援員研修 講師

(4) 甲府市幼児教育センター 月齢別講座(1歳8か月~2歳未満) 2023.10.20.

(5) 令和5年度山梨県保育協議会保育所(園)長研修会 講師 2023.11.21.

(6) (公社)日本女子体育連盟「第56回全国女子体育研究大会愛媛大会」幼稚園部会指導助言,2023.12.1.

4. 表彰

公益社団法人 日本女子体育連盟、JAPEW 功労賞

一般社団法人 全国保育士養成協議会、令和 5 年度 教職員表彰

鳥居美佳子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

研究ノート

- 1) (共著) 鳥居美佳子、大塚ゆかり・里見達也・長坂香織：多様性ある社会的連携・協働の構築に関する研究－外国人地域生活サポーターと地域活動を考える－. 山梨県立大学人間福祉学部紀要18：57-69 (2023年3月)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本家政学会、日本機能性食品医用学会、日本食育学会、日本産前産後ケア・子育て支援学会、日本子育て学会、小児栄養研究会

2. 行政・関係団体活動等

- 1) 大村智自然科学賞選考委員会委員

3. 研修会・講演会等

- 1) 講座講師 甲府市月齢別講座 (2023年6月)
- 2) 講座講師 親子料理教室 (2023年7月)
- 3) 講座講師 山梨県子育て支援員研修 (2022年8月)

林 康成

I. 主な研究活動

1. 著書・論文等

(1) 著書

- 1) 林康成・村松浩幸外28名 (2019)「小・中・高等学校でのプログラミング教育実践－問題解決を目的とした論理的思考力の育成－」,九州大学出版 (一般社団法人日本産業技術教育学会), (分担部分) 第6章「照度・温度センサを活用した「日なたと日かげ」のプログラミング学習」(96頁 -103頁)
- 2) 村松久和・林康成外61名 (2020)「楽しい理科 (検定教科書) 3年, 4年, 5年, 6年」信濃教育会出版社 (公益社団法人信濃教育会), (分担部分) 3年10章「光のせいしつ」(101頁 - 111頁), 4年5章「月と星 (1) 夏の星」(60頁 - 67頁), 5年11章「ふりこの運動」(142頁 - 149頁), 6年章「月と太陽」(78頁 - 84頁)
- 3) 村松久和・林康成外61名 (2020)「楽しい理科 (教師用指導書)」, 信州教育出版社 (公益社団法人信濃教育会), (分担部分) 理科教科書編纂委員として教師用指導書の編纂に参加していたため, 分担部分抽出不可能
- 4) 林康成外16名 (2020)「理科の教育」, 東洋館出版, (分担部分)「担任理科, 専科理科－学級担任と理科専科の意識に相違点をふまえて－」(41頁 -43頁)
- 5) 林康成外18名 (2023)「理科の教育」, 東洋館出版, (分担部分)「コメント付き写真の共有が振り返りでの気付きへ及ぼす効果－小学校生活科における野外観察を通して－」より小学校生活科における気付きの質の高まり」(63頁 -64頁)

(2) 論文

- 1) 林康成・島田英昭・三崎隆・西川純 (2019)「小学校理科の個別実験における全体的協働の効果－成績下位層に注目して－」, 理科教育学研究 (日本理科教育学会), 第60巻, 第1号, 39頁 -46頁
- 2) 林康成・三崎隆 (2019)「小学校理科授業における学力下位の学習者の gatekeeper 経験と学力向上との関係－第5学年「ふりこの運動」における事例から－」, 日本教科教育学会誌 (日本教科教育学会), 第42巻, 第2号, 35頁 -42頁
- 3) 林康成・三崎隆 (2019)「科学経験としての理科の自由研究に取り組む積極的意識が科学的リテラシーの習得に与える影響」, 臨床教科教育学会誌 (臨床教科教育学会), 第19巻, 第1号, 47頁 -53頁
- 4) 林康成・島田英昭・三崎隆 (2019)「ペアプログラミングにおいてペア以外の学習者との協働的な情報交換が学習効率と課題達成プロセスに与える影響」, 日本教育工学会論文誌 (日本教育工学会), 43巻, 31頁 -38頁
- 5) 林康成・三崎隆・坂口雅彦・天谷健一・井田秀行・神原浩・伊藤冬樹・竹下欣宏 (2019)「理科の観察, 実験におけるタブレット端末による微速度撮影再生機能の活用が児童の自然認識と授業意識に与える効果」, 信州大学教育学部付属次世代型学び研究開発センター紀要教育実践研究 (信州大学), 第18巻, 59頁 -68頁
- 6) 林康成・三崎隆 (2020)「教具の違いによる実験における測定の正確さの意識と実験結果を

- 分析して解釈する認識についての一考察」, 臨床教科教育学会誌 (臨床教科教育学会), 第20巻, 第1号, 55頁-64頁
- 7) 林康成・三崎隆 (2021) 「『学び合い』における理科授業で実験計画力が高まった学習者とそうでない学習者の会話の違いに関する事例的研究: 小学校理科第5学年における「電流のはたらき」を事例に」, 臨床教科教育学会誌 (臨床教科教育学会), 第21巻, 第1号, 79頁-90頁
 - 8) 林康成・島田英昭・三崎隆 (2021) 「既知の地上画像を取り入れた天体シミュレーションの視聴による星の日周運動の理解」, 科学教育学研究 (日本科学教育学会), 第44巻, 第4号, 329頁-337頁
 - 9) 林康成・島田英昭・三崎隆・西川純 (2021) 「成績下位の学習者の全体的協働経験による能動的な関わり合いの持続性が媒介する成績向上」, 理科教育学研究 (日本理科教育学会), 第61巻, 第2号, 537頁-545頁
 - 10) 林康成・桐生徹 (2021) 「コメント付き写真の共有が振り返りでの気付きへ及ぼす効果—小学校生活科における野外観察を通して—」, 理科教育学研究 (日本理科教育学会), 第61巻, 第2号, 445頁-455頁
 - 11) 林康成 (2022) 「『学び合い』における考察記述を向上させる会話の事例的研究—小学校理科第5学年単元「ふりこの運動」を事例に—」, 臨床教科教育学会誌 (臨床教科教育学会), 第21巻, 第2号, 11頁-20頁
 - 12) Yasunari Hayashi, Yamato Hasegawa, Hiroki Hayashi, Fumiko Okiharu(2023).Improvement of Astronomical Observation Teaching Materials by Elementary School Pupils Using Micro:bit for STEAM Education and Pupils' Awareness of Each Subject, Proceedings of Joint Conference of 11th International Science, Social Sciences, Engineering and Energy Conference and, 6th International Conference on Technology and Social Science.
 - 13) 林康成・興治文子 (2023) 「単元「ふりこの運動」でのピア・インストラクション型授業における概念変容を引き起こす子どもの発言についての研究」, 臨床教科教育学会誌 (臨床教科教育学会), 第22巻, 第2号, 21頁-29頁

(3) 学会発表等

- 1) 林康成・三崎隆 (2019) 「小学校第5学年理科授業において考察する力が高まった学習者とそうでない学習者の会話の違いに関する事例的研究—仮説を立てる際の会話を事例に—」, 日本教科教育学会全国大会論文集45, 掲載番号2B4-3
- 2) 林康成・三崎隆 (2019) 「批判的思考力の異なる児童の論証構成における会話の比較—小学校理科第5学年「電流のはたらき」における仮説設定場面」, 第18回臨床教科教育学セミナー予稿集, 69頁-70頁
- 3) 林康成・桐生徹 (2020) 「観察時の気付きを音声注釈で記録することによる振り返り」, 日本理科教育学会第70回全国大会発表論文集45, 89頁
- 4) 林康成・桐生徹 (2020) 「タブレット端末を活用した理科の観察, 実験動画視聴においてふきだし法を用いることによる振り返りでのメタ認知に関する研究」, 日本科学教育学会年会論文集43, 89頁-90頁

- 5) 林康成・桐生徹 (2020) 「学習者が立ち歩くことによる説明活動が考察記述に及ぼす効果」, 日本教科教育学会全国大会論文集46, 23頁-24頁
- 6) 林康成・桐生徹 (2020) 「理科の予習にふきだし法を取り入れる効果」, 日本科学教育学会年会論文集42, 16頁-20頁
- 7) 林康成・桐生徹 (2021) 「小学校生活科における注釈付き写真の共有が振り返りでの気付きへ及ぼす効果」, 第19回臨床教科教育学セミナー予稿集, 110頁-111頁
- 8) Yasunari Hayashi, Fumiko Okiharu(2022). A Study of Children's Concept Change Dialogue in Elementary School Peer Instruction Class, Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS).

2. 競争的資金獲得

[研究代表者]

- 1) 林康成：タブレットの録画再生機能を活用した自然認識の形成を促進させる理科授業の解明と効果, 科研費 (奨励研究), 課題番号：18H00186, 2018年4月 - 2019年3月
- 2) 林康成：小中接続のための定性的理解から定量的理解への転換を図るセンサ活用の実証的研究, 科研費 (奨励研究), 課題番号：23H05170, 2023年4月 - 2024年3月

3. 受賞歴

- 1) 開発教材コンテスト内田洋行賞 (2020年)
- 2) 東書教育賞入選 (2020年)
- 3) ちゅうでん教育大賞優秀賞 (2021年)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・役職

[所属学会]

日本理科教育学会, 日本科学教育学会, 臨床教科教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育工学会,
日本物理教育学会
日本理科教育学会第66回全国大会実行委員会副委員長

2. 行政・関係団体活動等

- 1) PTA 関係文部科学大臣表彰候補選考委員 (2023年4月～現在)
- 2) 啓林館理科教科書協力員 (2020年4月～2023年6月)

3. 研修会・講演会等

- 1) e スクールステップアップ・キャンプ2018 東日本大会報告 (2019年2月)
- 2) 長野市情報教育研修講座講師 (2019年2月)
- 3) CST 理科研修会講師 (2019年8月)
- 4) 長野県総合教育センター講座講師 (2019年9月)
- 5) 「未来の学び」小学生のための生涯学習講座講師 (2023年8月)

古屋 祥子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

<論文>

- (1) 古屋祥子 (2023) 「国内美術館・博物館における 触覚を活用した美術作品鑑賞に関する調査」山梨県立大学人間福祉学部紀要第18号 pp.15-29

<研究ノート>

- (1) 古屋祥子、石川智弥 (2023) 「視覚障害者と晴眼者の協働による学びについての一考察—触察絵本制作のワークショップ実践を通して—」美術教育研究第28号 pp.1-12

<美術作品発表>

- (1) 古屋祥子「Quello che voglio toccare」(創作絵本) イタリアさわる絵本コンペティション「Tocca a te!」最優秀アーティスト賞受賞 [ボローニャ サラボルサ図書館] 2023年10月
- (2) 古屋祥子「SOFT MEDAL」(アートメダル) 33th F.I.D.E.M. World Congress[Florence] (国際メダル協会 フィレンツェ大会) [フィレンツェ国立中央図書館] 2023年10月
- (3) 古屋祥子、石川智弥「てざわりの旅」(インスタレーション) 触の祭典「ユニバーサル・ミュージアム さわる!めぐる物語」[ボーダレス・アートミュージアム NO-MA] 2023年10月
- (4) 古屋祥子、石川智弥「あたたかいゆめ」(立体作品) 手でみるプロジェクト2022「ふれてみる展覧会」[山梨県立図書館交流ルーム101,102] 2023年10月
- (5) 古屋祥子、石川智弥「T.Blend live act 9『ゆくかた 碧きこのほしを』」舞台美術 [ラゾーナ川崎プラザソル] 2023年9月
- (6) 古屋祥子、石川智弥「あたたかいゆめ」(立体作品) 手でみるプロジェクト2022「ふれてみる展覧会 in 台湾」「用手去看見世界」2022年11月

2. 学会発表

- (1) 武末裕子、古屋祥子「山梨のふれてみる美術鑑賞 地域連携によるアプローチの展開」山梨大学女性研究者研究報告会・交流会 ダイバシティが牽引する地域活性化とイノベーション ポスターセッション 2023年

3. 報告書

- (1) 武末裕子、古屋祥子 (2023) 他「手でみるプロジェクト2022報告書」

4. 科学研究費

- (1) 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究C「触覚教育のための『さわる絵本』の研究および制作プログラムの開発・実践」研究代表者 R5～7年
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究C「感染対策をふまえた日伊・日台国際連携による触覚美術鑑賞ツール開発・実践研究」研究分担者 R4～6年

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・美術教育研究会 委員（役員）
- ・美術解剖学会 会員
- ・大学美術教育学会 会員
- ・日本藝術メダル協会（J.A.M.A.）会員
- ・国際メダル協会（F.I.D.E.M.）会員

2. 行政・関係団体活動等

- （1）山梨大学・山梨県立大学・山梨県立図書館共催事業「手でみるプロジェクト2023」実行委員

3. 研修会・講演会等

- （1）富士河口湖町3歳児親子ふれあい教室 講師 2023.9
- （2）認定こども園Fuji こどもの家バンビーノの森 美術活動 講師 2022.12,2023.2,8,10
- （3）認定こども園 学校法人市川幼稚園 美術活動 講師 2022.2,6/20.27
- （4）森のようちえん にっこにこ 美術活動 講師 2022.5
- （5）甲府市幼児教育センター（中道、北部）月齢別講座 2023.6/16,6/21,10/25

大津 雅之

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

・ 著書

- (1) 共著：(編集) 障害福祉サービス実務研究会・(代表) 柳田正明『わかりやすい 障害福祉サービスの実務―追録第9号―』新日本法規、2023年2月、879、1016ノ2、1131、1217ページ。

2. 報告書

- (1) 共著：「11. 自閉症者の障害特性に合わせた業務量調整のためのシミュレーションモデル作成」『2021年度 公益財団法人大同生命厚生事業団 地域保健福祉研究助成 研究報告書』(著：青柳修平, 大津雅之, 八巻光太郎, 横内幹, 青柳暁子, 田中謙)、2023年1月発行。

3. その他

- (1) インタビュー：「お仕事 interview 大津先生に聞いてみた」『山梨県立大学広報誌 Souffle Vol.13』pp.22-23、2023年3月発行。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

所属学会

- 日本社会福祉学会 (会員)
- 日本ヘルスプロモーション学会 (会員)
- 日本学習社会学会 (会員)
- 日本教育福祉学会 (会員)

職能団体

- 日本社会福祉士会 (会員)
- 山梨県社会福祉士会 (会員・理事)
- 日本介護福祉士会 (会員)
- 山梨県介護福祉士会 (会員)

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 協力員、2017年度～現在
- (2) 中央市・昭和町地域自立支援協議会 協議会委員、2018年度～現在
- (3) 中央市・昭和町計画相談事業所連絡会スーパーバイザー・アドバイザー、2021年度～現在
- (4) 中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」事例検討会スーパーバイザー・アドバイザー、2021年度～現在

3. 研修会・講演会等

- (1) 令和4年度山梨県相談支援従事者主任研修「人材育成の意義と必要性」講師 山梨県・社会福祉法人 山梨県 障害者福祉協会 2022年11月18日
- (2) 令和5年度 中央市・昭和町計画相談事業所連絡会「つながりと居場所づくりの会」講師・スーパーバイザー・アドバイザー 中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」 2023年6月15日 - 2023年12月22日
- (3) 令和5年度山梨県相談支援従事者主任研修「人材育成の意義と必要性」(録画配信) 講師 山梨県・社会福祉法人 山梨県 障害者福祉協会 2023年6月27日
- (4) 令和5年度山梨県相談支援従事者現任研修「人材育成 スーパービジョン」(ZOOMによる生配信) 講師 山梨県・社会福祉法人 山梨県 障害者福祉協会 2023年7月14日

久保木智洸

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

論文

- 1) 長澤直紀, 久保木智洸, 磯部美穂, 比志真美, 加藤淳也, 坂本玲子『肥満および脂質異常と生活習慣要因との関連：学生定期健康診断結果から－ The association of obesity and dyslipidemia with lifestyle : A study on students' regular medical examinations』, Campus health 公益社団法人全国大学保健管理協会機関誌, 56(2), 75-81, 2019年5月
- 2) 久保木智洸, 高橋知音, 本田秀夫, 鷲塚伸介『自閉スペクトラム症および注意欠如・多動症傾向の中学生が抱える日常生活上の困り感を尋ねるための自記式質問紙の試作版開発』, 信州大学教育学部研究論集, 16, 49-62, 2022年3月
- 3) 久保木智洸『マインドフルネス瞑想が自閉スペクトラム症者に与える影響についての検討：Intense world theory を軸に－ Examining the influence of mindfulness on people with Autism Spectrum Disorders : Focusing on Intense World Theory』, 健康科学大学紀要, 19, 37-42, 2023年3月

2. 競争的資金による研究

- 1) 久保木智洸, 高橋知音, 篠山大明『「自閉スペクトラム症/注意欠如・多動症傾向の中学生が抱える困難を尋ねるための質問紙」の開発：多数例および診断の有無による信頼性・妥当性検討』, 研究助成論文集/明治安田こころの健康財団編, 57, 97-105, 2022年11月

3. 学会発表

- 1) 久保木智洸『音楽制作の大衆化から浮かび上がる人や時代の病理性』, 日本病跡学雑誌, 100, 101-101, 2020年12月

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本精神神経学会（会員）

山梨県精神保健福祉士協会（会員・事務局）

日本児童青年精神医学会（会員）

日本自閉症スペクトラム学会（会員・事務局）

日本学校ソーシャルワーク学会（会員）

日本病跡学会（会員）

日本精神保健福祉士協会（会員）

2. 行政・関係団体活動等

長野地方裁判所・精神保健参与員（2023年）

3. 研修会・講演会等

信州大学附属病院子どものこころ診療部 発達障害家族教室 講師 年2回

関屋 光泰

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

- (1) 『貧困に対する支援 シリーズ 最新 はじめて学ぶ社会福祉』
「第16章 多機関及び多職種、住民、企業等の協働による地域づくり」
ミネルヴァ書房 (206-226頁)
2022年5月

2. 学会発表

3. 報告書

- (1) 共著「厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 2018年度
地域住民の社会参加活動等を基盤とした互助促進の手法に関する調査研究事業 報告書」
全国食支援活動協力会 113-121頁
2019年3月
編著：内藤 佳津雄
共著者：清水 洋行, 祐成 保志, 関屋 光泰, 内藤 佳津雄, 中島 智人, 原田 晃樹 等
- (2) 共著「財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 委託研究 2018年度
食支援活動に関する調査研究 報告書」全国食支援活動協力会 8-12頁
2019年3月
編著：内藤 佳津雄
共著者：清水 洋行, 祐成 保志, 関屋 光泰, 内藤 佳津雄, 中島 智人, 原田 晃樹, 服部 真治 等

4. 科研費等研究

- (1) 厚生労働省 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業
「地域住民の社会参加活動等を基盤とした互助促進の手法に関する調査研究事業」
代表：内藤 佳津雄 (日本大学)
2018年度
- (2) 委託研究 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
「食支援活動に関する調査研究」
代表：内藤 佳津雄 (日本大学)
2018年度
- (3) 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 「子どもの参加を促進する「子ども主体アセスメントシステム」構築に向けた実証的研究」研究分担者
代表者 梅野潤子 (長崎国際大学)
課題番号 20K02226
2020年度から

5. その他

Ⅱ. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- (1) 日本社会福祉学会、
- (2) 日本福祉のまちづくり学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 埼玉県福祉部「こどもの居場所づくりアドバイザー交流会」講演 主催：埼玉県福祉部
2020年9月4日
- (2) 埼玉県「地域における共助 SDGs 活動推進事業」講演「子ども食堂と SDGs 講座」オンデマンド講演 主催：埼玉県
2021年3月～現在

3. 研修会・講演会等

- (1) 千葉県 生活保護法担当新任地区担当員研修 講師
2019年5月
- (2) 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会公開講座「生活保護・生活困窮者の公的扶助ケースワーク」講師
2020年8月
- (3) 全国地域生活定着支援センター協議会「全国地域生活定着支援人材養成研修 初任職員研修」講演「課題解決の方法」主催：全国地域生活定着支援センター協議会
2021年1月9日

4. その他

橋爪 大輝

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

著書（共著）

- (1) 神崎宣次／佐藤静／寺本剛編『倫理学』（3STEP シリーズ）昭和堂、2023年（橋爪は第12章「公共——ひとつの世界を共に生きる」183-195頁を執筆）。

論文（単著）

- (1) 橋爪大輝「アルフレート・シュッツにおける「意味」」『山梨県立大学人間福祉学部 紀要』第18号、2023年3月、1-14頁。
- (2) 橋爪大輝「ウェーバーとベルクソンの交錯——アルフレート・シュッツの自由論」社会思想史学会編『社会思想史研究』第47号、藤原書店、2023年9月、125-144頁（査読あり）。

2. 学会発表

口頭発表（単独）

- (1) 橋爪大輝「「悪の凡庸さ」はいかなる意義をもつか——アーレントの「倫理学」ハイデガー・フォーラム第18回大会、於・大阪教育大学天王寺キャンパス、2023年9月23日。

4. 科研費等研究

- (1) 「『批判版全集』の精査にもとづいたアーレントの思想形成過程の解明」日本学術振興会科学研究費助成事業、基盤研究（C）、課題番号21K00100、期間2021年-2024年、研究分担者。
- (2) 「テクノロジー時代の人間の条件——アーレント思想の応用可能性」日本学術振興会科学研究費助成事業、基盤研究（C）、課題番号21K00042、期間2021年-2024年、研究分担者。

5. その他

- (1) 橋爪大輝「（書評）牧野雅彦著『精読 アーレント『人間の条件』』『週刊読書人』2023年5月5日号、3面。
- (2) 橋爪大輝ほか「2023年上半期の収穫から」『週刊読書人』2023年7月28日号、4面。

II. 主な社会活動

1. 所属団体・職能団体および役職等

所属学会

日本倫理学会（会員）、社会思想史学会（会員）、政治思想学会（会員）、日本アーレント研究会（スタッフ）、ハイデガー・フォーラム（会員）

3. 研修会・講演会等

- (1) 「哲学に、聞いてみる。」（講演会）司会＝兼清慎一、登壇＝斉藤奈央／橋本憲幸／橋爪大輝、於・山梨県立大学飯田キャンパス講堂、2023年7月27日。
- (2) 子育て支援員研修「対人援助の価値と倫理」講師、於・山梨県立大学、2023年8月24日。

(3) 「他者と共に生きるとは。」(講演会) 司会=兼清慎一、登壇=齊藤奈央/橋本憲幸/橋爪大輝、於・山梨県立大学飯田キャンパス C101教室、2023年10月27日。

4. その他

マスコミ取材

(1) 「政治哲学者アーレントに脚光」『日本経済新聞』日本経済新聞社、40面、2022年12月19日。

林 知然

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

・ 著書

- (1) 林知然・永野真希・林奈穂子 (2021)『児童養護施設から考える子どもの性と生：性教育実践報告』かもがわ出版

・ 論文

- (2) 林知然 (2020)「東京家庭学校の取り組み～10年目の評価と、今後の課題～」児童福祉研究、28、38-40
- (3) 林知然 (2020)「児童養護施設からの家庭復帰に係る研究 ―A児童養護施設における経年調査から―」東洋大学大学院紀要、56、115-133
- (4) 林知然 (2021)「児童養護施設からの家庭復帰に係る研究(2) ―A児童養護施設における経年調査と児童虐待―」東洋大学大学院紀要、57、113-132
- (5) 林知然 (2022)「子どもの権利に視点をのこした里親不調による委託解除を防ぐための一考察 ―里親へのインタビューを中心として―」子どもの権利研究、33、151-163
- (6) 林知然 (2022)「子どもからの表出を多角的にとらえる―特集 ケアニーズの高い子どもへの養育のあり方を考える」児童養護、52(3)、8-11

2. 学会発表等

- (1) 林知然 (2021)「3歳未満児の代替養育における一考察―里親会へのインタビューを通じて―」NPO法人・国連NGO子どもの権利条約総合研究所2021年度研究報告
- (2) 林知然・永野真希 (2022)「児童養護施設における性と生教育実践―子どもへの性と生教育実践を中心に―」日本児童養護実践学会第14回研究大会
- (3) 林知然 (2023)「Aさんの家族とのかかわりにおける自己決定支援 ―マイクロレベルの支援からメゾレベルへの支援展開―」日本児童養護実践学会第15回研究大会

3. 報告書等

- (1) 共著：『東京都委託児童養護施設等人材育成支援事業最終報告書』(2012)社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所東京都児童養護施設等人材育成支援事業検討委員会事務局
- (2) 共著：『東京都児童養護施設等人材育成支援事業家庭支援専門相談員実態調査報告書』(2012)社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所東京都児童養護施設等人材育成支援事業検討委員会家庭支援専門相談員業務指針策定部
- (3) 共著：東京都社会福祉協議会児童部会 (2018)『家庭支援専門相談員実態調査報告』

4. 科研費等研究

[研究分担者]

- (1) 社会的養育におけるドリフト現象の実態把握とケア指標作成に向けての研究、日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)、2023年4月―2026年3月、研究代表者：山田勝美、

研究分担者：井出智博、有村大士、林知然

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- (1) 東洋大学社会福祉学会（委員）
- (2) 日本社会福祉学会（委員）
- (3) 子どもの権利条約総合研究所（委員）
- (4) 東洋大学人間科学総合研究所（委員）
- (5) 日本児童養護実践学会（委員）
- (6) 日本子ども家庭福祉学会（委員）
- (7) 日本子ども虐待防止学会（委員）

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 児童養護施設東京家庭学校（ケアワーカー・本園統括主任・家庭支援専門相談員）2002年12月—2023年3月
- (2) 東京都社会福祉協議会児童部会子どもの権利擁護委員会（委員）2011年4月—現在
- (3) 東京都社会福祉協議会児童部会専門職委員会家庭支援専門相談員（ファミリーソーシャルワーカー）グループ（グループチーフ）2016年4月—2023年3月
- (4) 児童養護施設東京家庭学校（家庭支援専門相談員）2023年4月—現在
- (5) 山梨県内 A 児童養護施設（スーパーバイザー）、2023年4月—現在
- (6) 甲府市子どもの権利擁護委員会（委員）2023年7月—現在

3. 研修会・講演会等

- (1) 「親権停止による支援の展開」講師、東京都社会福祉協議会児童部会専門職委員会家庭支援専門相談員グループ学習会、2018年11月
- (2) 「子どもの権利」講師、東京都社会福祉協議会児童部会 子どもの権利擁護委員会研修会、2021年7月
- (3) 「子どもの権利擁護のためのリーガルソーシャルワーカー当事者主体の視点を端緒に一」講師、東京都社会福祉協議会児童部会 専門職委員会家庭支援専門相談員グループ学習会、2021年10月
- (4) 「児童養護施設における生と性教育の必要性と実践」講師、NPO 法人チャイボラ社会的養護施設職員研修会、2021年10月
- (5) 「児童養護施設における生と性教育の必要性と実践」講師、多摩トラブルシューター 研修会、2021年11月
- (6) 「子どもの権利」講師、都内 B 児童養護施設研修会、2022年1月
- (7) 「児童養護施設における性・生教育の必要性と実践」講師、都内 C 児童養護施設研修会、2022年2月
- (8) 「児童養護施設における『能動的』な性・生教育の実践」発題者、第36回関東ブロック児童養護施設職員研修会、2022年10月

- (9) 「区児童相談所の特色を活かした取り組みを学ぶ～関係機関との連携・今後の展開について」コーディネーター、東京都社会福祉協議会児童部会専門職委員会家庭支援専門相談員グループ学習会、2022年10月
- (10) 「子どもの権利—子どもの権利条約、子どもの代替養育に関するガイドラインなどを端緒に一」講師、都内C児童養護施設研修会、2022年11月
- (11) 「性と生を考える～東京家庭学校の性教育実践報告～」講師、関東児童自立支援施設協議会生活支援員研究会研修会、2022年12月
- (12) 「性と生を考える～東京家庭学校の性教育実践報告～」講師、東京都社会福祉協議会児童部会保育士・指導員会第四ブロック学習会、2023年1月
- (13) 「性と生を考える～東京家庭学校の性教育実践報告～」講師、都内D児童自立支援施設、2023年6月
- (14) 「ファミリーソーシャルワークの実際—事例を端緒に一」講師、児童部会専門職委員会家庭支援専門相談員グループ研修会、2023年10月